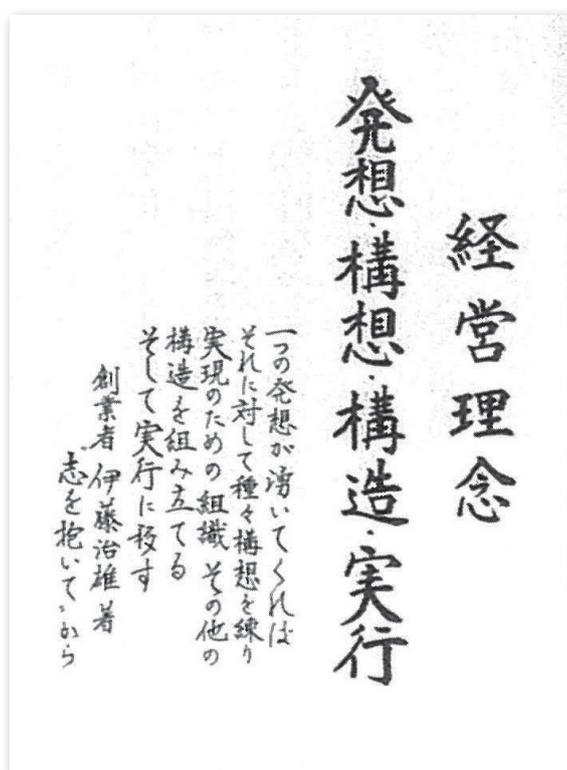


イノベーションの源泉

創業者から紐解くダイセキのイノベーションの源泉

ダイセキの創業者である伊藤治雄は、ダイセキを創業するまでに戦争中の空襲による商売の顧客喪失、伊勢湾台風による株式会社大同石油化学工業(現株式会社ダイセキ)の被災などの様々な危機に直面しています。その際、「どうするか」「こうしようか」「その結果どうなるか」といった自問自答を常に繰り返し、生まれた発想に対してあらゆるシチュエーションを考えて「是非」を自ら問うことで決断してきました。そして、いったん決断すると、それを直ちに実行してきました。ダイセキの経営理念である「発想・構想・構造・実行」は伊藤治雄の日頃の体験から自然に生み出されてきたものです。この理念を基に今日までのダイセキの様々なイノベーションが創出されてきました。

ダイセキの経営理念



ダイセキの経営理念

発想

予測と先見性から一つの「発想」が生まれ

構想

それに対して種々の「構想」を練る

構造

その「構想」の実現のため組織、その他「構造」を組み立てる

実行

そして「実行」に移す

ダイセキの強み

地球環境を大切にしている多様な人材

- もったいない精神を持ち地球環境を大切にしている多様な人材が結集し困難な課題に挑戦

業界トップの顧客基盤とブランド

- 廃掃法等の法令遵守の徹底により顧客の安心を獲得
- 全国ほぼ全ての自治体から優良産廃処理業者として認定

イノベーションを生み出すDNA

- 廃棄物から価値を生み出すイノベーションのDNAを継承
- 産業廃棄物の処理とリサイクル製品の販売の両方で価値を創出

高い技術力と機動力

- 独自の特性を持つ活性汚泥処理施設の微生物を活用し処理難物も対応可
- 全国に配備する収集運搬用の大型車両で災害発生時には迅速に復旧支援

少ない資源とエネルギーでリサイクル

- 公害規制が強化された1972年から先駆者として50年以上環境保全に貢献
- 燃やさないリサイクルにより気候変動対策、資源循環に貢献
- CDPのAスコア取得等、国内外の環境格付機関から高い評価を取得

健全な財務体質

- 産業廃棄物リサイクル専門の事業者として初の東証一部*上場を果たす
- 健全な財務体質により顧客の信頼を獲得

※現在の東証プライム市場